

2022年11月11日

(全3枚)



～認知症の人の想いに触れてみませんか？～

## 無印良品小田急町田店で 「D ブックス」を実施しています

市と「認知症とともに生きるまちづくりに関する連携協定」を締結している一般社団法人 D フレンズ町田は、12月下旬頃まで無印良品小田急町田店にて、認知症に関連する書籍を展示する「D ブックス」を実施しています。書店以外の小売店での設置は、初めての試みです。会場では書籍の他、認知症の診断を受けた方やその支援者が中心となって作成した竹灯籠の紹介も行っています。



### 【D ブックスとは】

本から情報収集したいと考える認知症の人やその家族等が、専門書や認知症本人エッセイ集など、認知症に関連する本を手に取りやすくなるよう、特設コーナー（無印良品小田急町田店では展示のみ）を設置する取り組みです。この取り組みは、民間書店等協力のもと実施しており、地域への認知症に対する正しい理解の促進につながっています。

### 【認知症関連書籍の販売会を開催します】

当日は、認知症の診断を受けた方や、学生、地域の支援者等が販売員として参加します。

開催日時：2022年11月23日（水・祝）午後1時～3時

※取材される場合は、事前に一般社団法人Dフレンズ町田へご連絡ください。

## 【出展の背景】

町田市では、認知症になっても地域で自分らしく生活できる「認知症とともに生きるまちづくり」を推進しており、Dボックスはその取り組みのひとつです。

2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になると言われ、誰もがなりうるものであり、家族や親しい人が認知症になることも含め、多くの人にとって身近なものとなっています。住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるためには、認知症と診断された方だけでなく、そうでない方も含めて、社会全体で認知症を正しく理解することが必要です。

この度、普段認知症に触れる機会のない方にも「認知症とともに生きる」ことについて知っていただきたいという思いから、一般社団法人Dフレンズ町田が中心となり、無印良品小田急町田店のご理解とご協力のもとDボックスを実施することとなりました。

### ■ 本件に関するお問い合わせ

一般社団法人 Dフレンズ町田 TEL 042-732-3451

町田市いきいき生活部高齢者福祉課 地域支援担当課長 青木 TEL 042-724-2140

町田市では、オール町田でまちの魅力を発信し、「住みたい、住み続けたい」と選ばれ続けるまちになることを目指しています。

本リリースは、市内関係団体と連携し、情報発信する取り組みの一環として行うものです。



いつまでも「私らしく、生きる」

# 認知症本人 エッセイ販売会

MUJIBOOKSコーナー展示の認知症関連本販売

2022年 11月 23日(水) | 13:00~15:00

MUJIBOOKSコーナーにて販売

人生100年時代。65歳以上の5人に1人になると言われている認知症。認知症当事者本人の言葉を綴った“認知症本人エッセイ”には、認知症に向き合い、理解しあえる仲間と暮らす姿、生活の知恵やヒントが書かれています。